

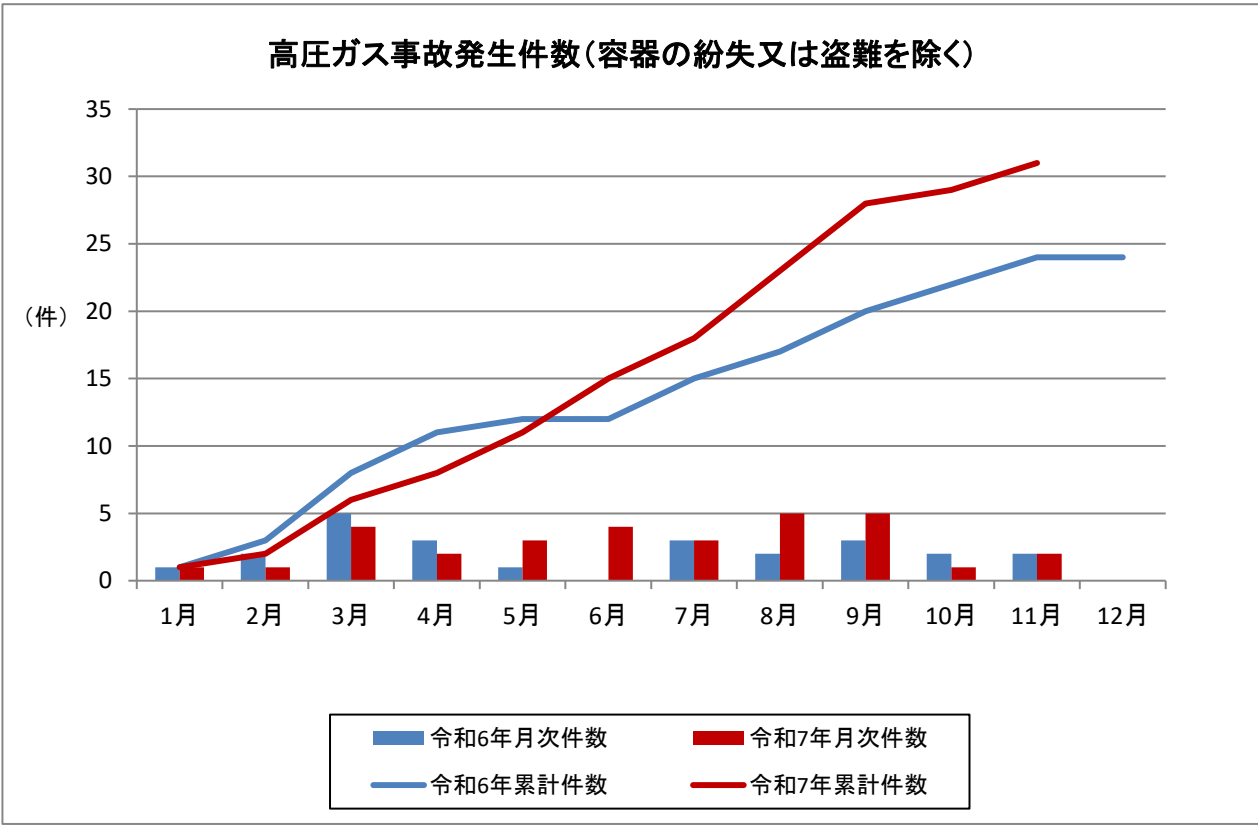
【令和7年】

■管内における事故発生状況(11月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。  
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○高圧ガス保安法(高圧ガス・石油コンビナート事故対応要領)関連

事故の種別		令和7年11月分				前月件数	前年同月件数	令和7年累計				令和6年累計			
		件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死	重	軽
			死	重	軽										
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
	火災					0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	噴出・漏えい	2				0	2	29	0	1	1	20	0	0	3
	破裂・破損等					1	0	2	0	1	0	1	0	0	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	0	0	0	1	2	31	0	2	1	24	0	1	5
容器の喪失又は盗難						0	0	2	0	0	0	4	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報 告 総 計		2	0	0	0	1	2	33	0	2	1	28	0	1	5



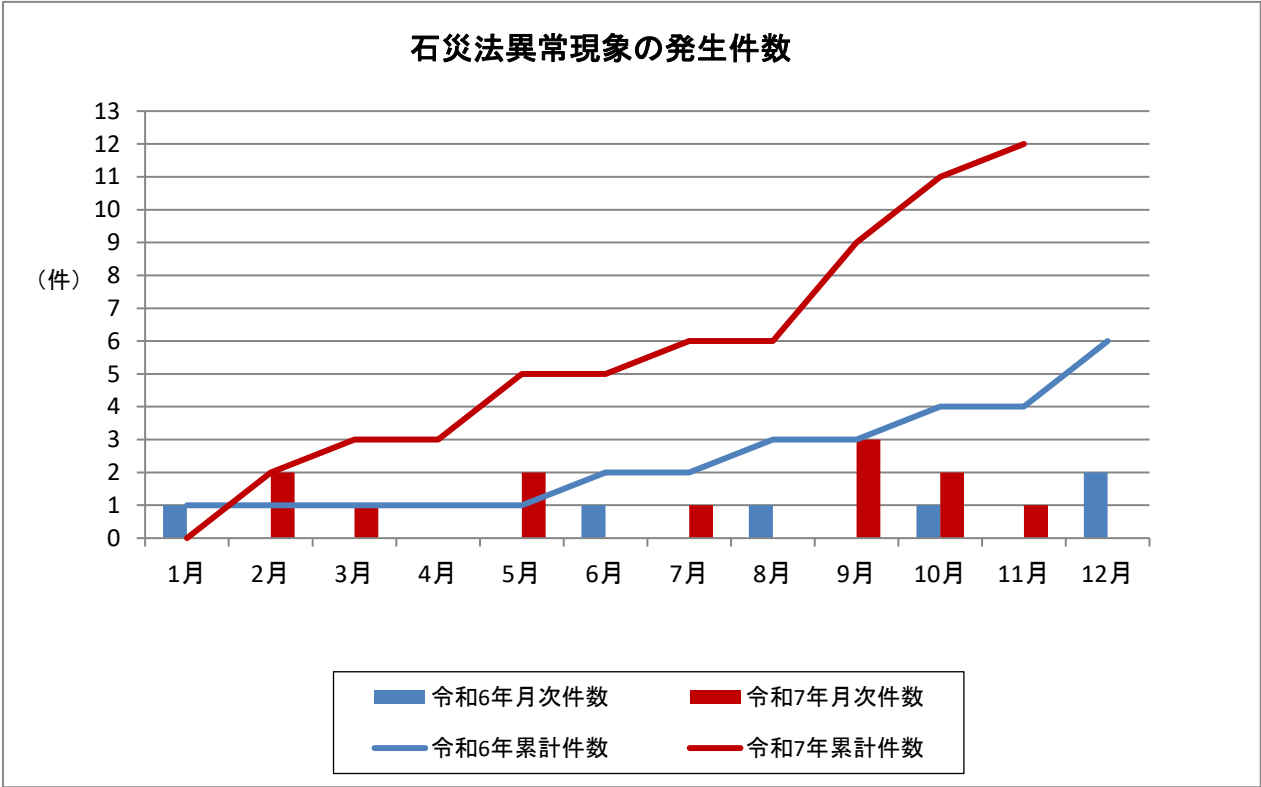
【令和7年】

■管内における事故発生状況(11月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。  
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	令和7年11月分				前月件数	前年同月件数	令和7年累計				令和6年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火	1				0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
石油等の漏洩					1	0	7	0	0	0	5	0	0	0
その他					1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
合　　計	1	0	0	0	2	0	12	0	1	0	6	0	0	0



## ◆令和7年(2025年)の事故概要

### ○高圧ガス保安法

(注 1) 先月から変更があった部分は、事故概要欄に(番号)を表示

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2025年11月30日	宮城県	国の機関	漏えい	試験設備においてガス検知器が発報し点検を実施したところ、メタンガスカードルボンベ本弁の二次側継手からのメタンガスの漏えいを確認。カードルボンベ所有のガス会社による継手の増締めにより漏えいは停止。原因は気温の低下によるガasketの収縮と推定される。	なし
2025年11月8日	福島県	販売業	漏えい	事業所内にある水素貯蔵モジュールを使用したところ、減圧弁からガスが漏れたような音を確認したため、設備を停止した。原因は調査中。施設外への漏えいなし。	なし
2025年10月30日	岩手県	製造業	破裂・破損等	レーザー加工機で消費する酸素容器を交換した後、酸素を供給するため容器の元バルブを開けたところ、容器から集合管に繋がっているフレキシブルホースが破損した。原因は、元バルブを急激に開けたためと推定される。	なし
2025年9月25日	福島県	都道府県の機関	漏えい	LPガスを使用した炎色反応を用いた土壌分析中、室内に設置していたLPガス容器(5kg)の容器バルブと調整器の接続部に亀裂が生じ、LPガスが漏えいした。原因は、経年劣化によるものと推定される。	なし
2025年9月21日	宮城県	冷蔵倉庫業	漏えい	第1種製造(冷凍)事業所において、工事業者が冷却器ファンの交換工事後、冷却器廻りで異音が生じたため、冷媒(CO2)配管の防熱被覆を解体したところ、冷媒配管の溶接部で配管溶接施工時に、不純物が溶接金属に混入し発生したピンホールからCO2が漏洩していた。	なし
2025年9月18日	福島県	発電所	漏えい	火力発電所において、発電設備稼働中、水素ガス漏えい警報が発報し、調べたところ、水素ガス供給配管ストレーナーのユニオン継手部からの漏えいを確認。原因はユニオン継手内部の部品(ガasket)の損傷によるものと推定される。	なし
2025年9月16日	岩手県	医療業	漏えい	施設内の冷房の冷えが悪いため、メーカーによる調査を行ったところ、冷房装置の熱交換器から冷媒(フルオロカーボン)が漏えいしていたことが判明した。原因は、熱交換器に経年劣化により生じたひび割れ部分からの漏えいと判断。(1)	なし
2025年9月16日	宮城県	製造業	漏えい	LPGの陸上出荷・貯蔵設備において、ローディングアームのグリスニップル交換作業中にLPGが漏えいした。作業員が漏えいを止めようと漏えい箇所を持っていたウエスを使い左手で押さえたため負傷。原因は調査中。	人的被害: 重傷1名 物的被害: なし(2)
2025年8月25日	福島県	製造業	噴出	タンクローリーから貯蔵タンクにLNGを受け入れ作業中、タンクローリー上部付近から気化したガスが煙状に噴出。原因は調査中。	なし
2025年8月21日	青森県	小売事業者	漏えい	冷凍機のパルブセット付近でアンモニア臭がしたため、メンテナンス業者が確認したところ、電子膨張弁から冷媒用鉄管に接続するソケット継手の溶接部鉄管側にピンホールが発生し、アンモニアが漏えいした事を確認。	なし
2025年8月13日	岩手県	高圧ガス販売	漏えい	従業員が、液化石油ガススタンドのディスペンサーのホースから漏えいしていた状況を確認。詳細を確認したところ、本来は閉止しているはずのディスペンサーのホース元のバルブがわずかに開いており、且つ、ホースに生じていた亀裂があり同部分から漏えいしていたとを確認。原因は、調査中。	なし
2025年8月13日	岩手県	高圧ガス販売	漏えい	警報により、事業所内を確認したところ、消費者宅から回収した50kg容器1本のバルブが開いており、漏えいしていたことを確認。原因は回収時に容器バルブの閉め方が緩かったか閉めた後に何かと接触して緩んだと推定。	なし
2025年8月11日	岩手県	医療業	漏えい	地中熱チラーの定常運転中、機器から「圧縮機コイル加熱」の警報が発報したため、設備を確認したところ、機器中の冷媒(フルオロカーボン)がほぼ無いことを確認した。機器内の振動及び温度変化による経年劣化が原因で気密不良が発生し、冷媒が漏えいしたものと判断。(3)	人身被害: なし 物的被害: なし(4)

2025年7月25日	宮城県	製造業	噴出	集中合理化装置群及び重油間接脱硫装置群灯油脱硫装置の安全弁が作動し、水素ガスがフレアスタックに向けて噴出した。 原因は調査中。(5)	人的被害:なし 物的被害:なし(6)
2025年7月21日	福島県	製造業	漏えい	バルク貯槽へのLPガス充てん終了後、ローリーの充てんホースをつないだまま車両を発進させたため、タンクの元弁が変形しLPガスが漏えいした。バルクローリーの片側の扉を閉めたまま充てん作業を行ったため誤発進防止機能が働かず、本事象が発生したものの。	なし
2025年7月3日	秋田県	製造業	漏えい	事業者が工場敷地内に設置していたバルク貯槽内部のLPガスを残したままの状態にし、倒産。別事業者が、同工場の解体を業者に依頼し、解体業者がバルク貯槽の解体を開始したところ、LPガスが漏えいした。原因は、解体業者が、貯槽内のLPガスが入っていないと思い込み解体工事を実施したため。	なし
2025年6月27日	福島県	宿泊業	噴出	水素貯蔵所で高圧容器モジュールに水素を充填した後、リリース弁から水素が噴出した。原因はモジュール内の減圧弁の不具合によるものと判断。(7)	なし
2025年6月26日	青森県	製造業	漏えい	老朽化により稼働を停止していた冷凍設備から、冷媒であるアンモニアガスが漏えいした。原因は冷凍設備と配管でつながっていた凝縮器等の腐食によるものと判断。(8)	なし
2025年6月19日	福島県	製造業	漏えい	顧客にて使用後の炭酸ガス及び酸化エチレン(20%)混合の残ガス容器を貯蔵していたところ、何らかの要因で容器安全弁の可溶栓が溶け出した為、安全弁から微量の吹き出しがあった。原因は調査中。	なし
2025年6月6日	青森県	技術サービス業	漏えい・火災	LPガス容器から残ガスを抜き取る際に、抜き取ったガスを貯槽側に送る配管のバルブを閉めたまま、容器のバルブを開けたため、ガスが貯槽側に流れず容器のバルブからLPガスが漏えいし、漏れたガスにより、作業員1名が低温火傷を負った。また、漏えいしたLPガスに近隣の乾燥炉付近で引火し、ビニールシートが燃えた。	人的被害:軽傷1名 物的被害:ビニールシート焼損
2025年5月29日	青森県	小売事業者	漏えい	事業所の工場においてアンモニア臭がしたため調査したところ、冷凍設備の蒸発器及び圧縮機内に残っていた液体アンモニアが、気温の上昇に伴い気化し、経年劣化した配管等から漏えいした。工場内に漏えいしたアンモニアガスは中和して放出した。原因は、配管等の経年劣化、設備稼働停止によるメカニカルシール部(回転軸の隙間を塞ぐシール)の密閉が弱まってできた隙間からの漏えいと推定される。(9)	なし
2025年5月24日	宮城県	製造業	破裂・破損等	バイオマス発電施設内の発電機本体の冷却水を循環させるためのクッションタンクを加圧中に、圧力指示計(クッションタンク用)を確認せずに加圧を継続したため、空気の過剰供給により破裂したものと判断。(10)	人的被害:重傷1名 物的被害:なし(11)
2025年5月15日	福島県	製造業	噴出	製造施設内に設けているLPG供給ユニットの配管に設置された点検用アングル弁付近からLPGが噴出している状況を確認した。原因は、弁のハンドルが開の状態、温度変化による熱収縮と熱膨張等が繰り返され、プラグに緩みが生じ漏えいしたと推定。(12)	なし
2025年4月10日	福島県	製造業	漏えい	液化アンモニア貯留施設の自動バルブフランジ部分からアンモニアが漏えい。漏えい確認後すぐにフランジを増し締めし、漏えいは停止した。原因は液化アンモニア貯槽液位の管理体制不良で液化アンモニアの受入が遅れ、貯槽が空になった状態で製造したためアンモニアガスが漏えいしたものと判断。(13)	なし
2025年4月8日	山形県	製造業	漏えい	HIP装置操作のため自動運転プログラムにて昇温昇圧中に炉内温度288℃、圧力107MPa付近にてガス漏れ音に気付き、障壁内に入り点検したところNo.4圧縮機低圧プラグ付近よりガス漏れ(アルゴンガス)を確認し装置を停止した。原因は、メーカーに詳細調査を依頼中。	なし
2025年3月31日	福島県	製造業	漏えい	凍結による機能低下を防ぐため、液化酸素製造設備に2台の蒸発器を設け、切り替えながら酸素使用生産設備に酸素を供給していた。蒸発器の切り替えのため、使用していた蒸発器の開閉弁を閉じたところ、同弁のガスカート付付近から液化酸素が漏えいした。原因は、開閉弁の開閉操作で液化酸素による熱収縮と外気温に戻る熱膨張が繰り返され、ボルトに緩みが生じたためと推定される。	なし

2025年3月17日	福島県	製造業	漏えい	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、充填配管と逆止弁との溶接接合部から液化窒素が漏えいしたものの。 原因は当該設備の老朽化によるものと推定。(14)	なし
2025年3月11日	山形県	製造業	噴出	社員がガスが抜けている音を聞いたため調べたところ、二酸化炭素消火設備の液化炭酸ガス容器6本のうち、1本の容器弁から噴出している状況を確認した。原因は調査中。	なし
2025年3月3日	福島県	製造業	漏えい	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、貯槽の充填配管の溶接部から液化窒素が漏えいしている状況を確認した。原因は当該設備の老朽化によるものと推定。(15)	なし
2025年2月5日	岩手県	製造業	漏えい	ガス臭に気付いた従業員が販売所に連絡し来場した所員が調べたところ、露出配管の継手部が緩んでおり、同所からLPガスが漏えいしたことが判明したものの。漏えい量は約100kgと推定。原因は、除雪業者がショベルカーで雪を寄せた場所に露出配管があり、積み上げられた雪の重みにより露出配管が変形し継手部が緩み、漏えいに至ったものと推定される。	なし
2025年1月6日	福島県	製造業	漏えい	空冷式チラー運転中にアラームが発生し運転を停止した。当該チラーの製造元が調査した結果、圧縮機から冷媒(フルオロカーボン410A)が漏えいしたことが判明した。漏えい量は10.6kg(全量)原因は、圧縮機本体とアキュムレーター(圧力タンク)をつなぐ配管振動を抑制する配管バンドが折損したことで振動が大きくなり、圧縮機下部配管に負荷がかかり漏えいが発生したものと推定される。	なし

## ◆令和7年(2025年)の事故概要

### ○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2025年11月13日	福島県	製造業	出火	電気炉より炎が上がり、電炉内のインダクタ(電流を一定に調整する部品)が焼損し、溶融銅が漏えいした。施設外への漏えいはなし。原因は調査中。	なし
2025年10月29日	福島県	製造業	その他	敷地内の発電設備に何らかのトラブルが発生し、異臭と煙が発生。発電設備が高温となったため放水による冷却を実施。設備を調査した結果、微粉炭が高温となったのみで設備に焼損等はないことを確認。原因は調査中。	人的被害:なし 物的被害:調査中
2025年10月3日	福島県	発電所	漏えい	発電所の硫酸タンクに付属する配管から硫酸が漏えい。構外への流出はない。漏えいの原因は調査中。	人的被害:なし 物的被害:調査中
2025年9月25日	宮城県	製油所	その他	ガソリン脱硫装置群にて酸化防止剤(第四類第三石油類)の封入作業中に薬液が噴出し、顔面を含む上半身に薬液を浴び負傷した。原因は調査中。	人的被害:重傷1名 物的被害:調査中
2025年9月7日	宮城県	製油所	漏えい	脱硫装置のフィルターから硫化水素吸着剤(第四類第三石油類)が漏えいしていることを確認。直ちにフィルター前後のバルブを閉止して漏えいを止めた。敷地外への漏えいはなし。原因はカバーフランジの片締めによるOリングの変形及び伸びによるもの。	人的被害:なし 物的被害:なし (16)
2025年9月5日	福島県	製錬所	出火	電気炉のレンガが脱落し、炉内に空気が流入したため炉内の充填物が燃焼し、炉頂へ火炎が上がり、最上階のベルトコンベアのベルト部に着火、延焼した。原因は電気炉内のレンガが長期間の使用により老朽化し脱落したものである。	人的被害:なし 物的被害:冷却水ホース、温度計配線、コンベヤベルト
2025年7月22日	宮城県	製油所	漏えい	ガスタービン発電施設の配管からの潤滑油の漏えいを覚知。該当箇所につながるバルブを閉止し、漏えいは停止した。事故時に実施していたオイルフラッシング作業において、バルブが開いた状態でポンプを起動したことで潤滑油の漏えいしたものと判断。(17)	人身被害:なし 物的被害:なし (18)
2025年5月26日	宮城県	製油所	漏えい	集中合理化装置群の配管からスロップオイルが漏えいしている状況を覚知。漏えい量は275リットルが漏えいしたものの、敷地外への流出はなし。原因は、保温板金損傷部からの雨水の侵入と推定。(19)	なし
2025年5月19日	宮城県	製油所	漏えい	重油直接脱硫装置群の付属配管の中仕切り提付近から重質軽油が漏えいを覚知。漏えい箇所付近のバルブを閉止し、配管内の残油、漏えい油及び汚染土壌を回収した。原因は配管が湿潤環境により、腐食が進行したため漏えいしたものと判断。(20)	なし
2025年3月19日	福島県	製造業	漏えい	濃硫酸配管のフランジのガスケット部から配管内の濃硫酸約160リットルが漏えいしたものである。敷地外への流出はなし。原因はブロー弁取替時に古いガスケットが残ったまま新しいガスケットを入れて弁を取り付けたため、微細な隙間が生じ、時間の経過で硫酸が侵入してノズル側フランジを徐々に浸食させ隙間が大きくなったことで漏洩に至ったと推定。(21)	なし
2025年2月20日	宮城県	製油所	漏えい	所員が重油直接脱硫装置の配管から軽油が漏えいしている状況を覚知し、同装置の稼働を停止した。漏えい量は55リットルで敷地外への流出はなし。原因は、保温板金損傷部から雨水が浸入し配管が腐食し開口に至ったもの。当該箇所は高所にあったため、劣化の覚知が遅れたもの。	なし
2025年2月12日	福島県	製造業	出火	構内に駐車したトラクタのキャビン後部から出火・延焼した。原因は、キャビン後部の配線が劣化し短絡したことにより、配線の樹脂被覆に着火したものである。	人的被害:なし 物的被害:トラクタ焼損